

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 令和5年度（2023年度）事業報告

（敬称略）

定款第5条各項により

第一項 ピアノを中心とする音楽および音楽教育に関する講習会、研修会、演奏会等の開催

■ピティナ・ピアノ指導セミナーVol.56（指導者育成委員会）

令和5年度（2023年度）は、4月23日（日）に東音ホールとオンライン、ハイブリッド形式で開催した。9名の講師が出演。様々な角度からピアノ指導を見つめ直す機会を提供した。

日程：令和5年（2023年）4月23日（日）

会場：東音ホール／オンライン

講師：金子勝子、棚瀬美鶴恵、鳥羽瀬宗一郎、日比谷友妃子、渡部由記子、石井なをみ、土持恵理美、横山真子、為末大（出演順）

■ピティナ・ピアノセミナー（本部事務局主催、後援）

令和5年度（2023年度）は、667箇所で開催。

■ピティナ・徹底研究2023（本部事務局）

令和5年度（2023年度）10月28日（土）11:00

会場：ベルサール虎ノ門HALL

講師：関本昌平 モデル生徒：天野薫、中山まどか、大山桃暖

■ピティナ・eラーニング（本部事務局）

令和5年度（2023年度）は、ピアノ指導に関するコンテンツを358件公開。年度末時点の登録者は4,757名。

■研究発表ピティナコンサートシリーズ（コンクール運営委員会）

○2023年度第47回ピティナ・ピアノコンペティション ソロ・デュオ部門入賞者記念コンサート

日程：令和6年（2024年）3月24日（日）

会場：第一生命ホール

出演者：第47回ピティナ・ピアノコンペティション A1級～特級、連弾初級A～連弾上級、2台ピアノ、第11回福田靖子賞
選考会入賞者37組

○2023年度特級ガラコンサート

日程：令和6年（2024年）2月24日（土）

会場：J:COM浦安音楽ホール

出演者：第47回ピティナ・ピアノコンペティション特級ファイナリスト4名

○2023年度第47回ピティナ・ピアノコンペティション グランミュージズ部門入賞者記念コンサート

日程：令和6年（2024年）2月18日（土）

会場：王子ホール

出演者：第47回ピティナ・ピアノコンペティション グランミュージズ部門入賞者16組

○グランミュージズ・サロン

令和5年度（2023年度）は27件実施。

主催者：相澤聖子、樋口あゆ子、杉浦菜々子、今泉響平、梅村知世、原口摩純、鯛中卓也、若松成、小原孝、樋口紀美子
会場：タカギクラヴィア松濤サロン、KuroiwaHARUKA ピアノアカデミー、GINZA GRAND BLEU PEAT LOUNGE、イトウミュージックシアター、Studio Chez Claude ホールA、PLAY新丸子 サロンホール、イギリス館、フィリアホール、カワイ広島「パーチェ」、カワイ表参道スタジオA

○北村明日人 凱旋ピアノリサイタル

日程：令和5年（2023年）11月4日（土）16:00開演

会場：西神中央ホール

出演者：北村明日人（2022特級グランプリ）

○特級グランド・コンチェルト2023

日程：令和5年（2023年）5月3日（水・祝）

会場：サ・シンフォニーホール

出演者：谷 昂登（2020年特級銅賞）・桑原志織（2013年特級銀賞）・阪田知樹（2011年特級グランプリ）

■研修交流会アンサンブルパーク（アンサンブル・国際交流委員会）

令和5年度（2023年度）は開催なし。

■トークコンサート（ステップ運営委員会）

令和5年度（2023年度）は248地区開催。

■プレアドバイザー研修会（アドバイザー派遣委員会）

令和5年度（2023年度）は9回実施し40名が受講した。その成果により、2023年度中に29名が正アドバイザーとして承認された（※）。※2024年1月までにプレアドバイザー研修を終えた方が対象

第二項 ピアノを中心とする音楽指導者および学習者等の技能の審査、コンクール等の実施

■第47回ピティナ・ピアノコンペティション（コンクール運営委員会）

予選・本選：

全部門（ソロ部門A2～特級、デュオ部門及びグランミューズ部門）を予定通り開催。新型コロナウイルス感染症も5類に移行したため、ほぼ2019年以前の形式に戻して運営し、予定通り各地区で実施。予選参加組数は29,044組（前年比100.4%）となった。

準本選：

開催3年目となる企画「準本選」を引き続き実施。動画に加え、実地でも試験的に2地区を実施した（浦安、葛飾）。予選を通過できなかった方および事情により本選に参加できなかった方を対象に、四期認定を目的としたコンクールで、359組が参加した。

課題曲チャレンジ

2020年度より実施している動画提出型・次選なしで課題曲学習に寄与する企画は、2023年度も継続実施。累計438組が参加。

・ピティナ・ピアノコンペティションへの審査員派遣（審査員選考委員会）

令和5年度（2023年度）は、351地区のピティナ・ピアノコンペティションへ802名、延べ1,997人の審査員を派遣した。当該年度に初めて審査を行ったのは29名。また、前年に続き実施した課題曲チャレンジの採点に延べ30名に協力いただいた。2021年度から開始した準本選は、25名の審査員に協力いただいた。

■ピティナ・ピアニステップ（ステップ運営委員会）

令和5年度（2023年度）は585地区が開催され、42,615組が参加した。参加組数は前年比99.2%だが、演奏時間合計は前年比101.3%となる。

・ピティナ・ピアニステップへのアドバイザー派遣（アドバイザー派遣委員会）

令和5年度（2023年度）は、ステップへ757名、延べ1,810人のアドバイザーを派遣した。当該年度に初めて正アドバイザーとしてアドバイスを行ったのは30名。

■ピティナ・ピアノ指導者ライセンス（指導者育成委員会）

令和5年度（2023年度）は、延べ32地区で指導実技審査・演奏実技審査・レポート審査を実施。受検者は延べ472名。

■全国一斉課題曲筆記試験（指導者育成委員会）

令和5年度（2023年度）は、延べ16地区で開催。うち4地区はオンラインでの開催。

春期はコンペティション課題曲、秋期は提携コンクール課題曲を題材とした筆記試験（指導者ライセンス筆記試験、ingプログラムWriting）を実施。受検者は延べ177名。

■提携コンクール（理事会）

外部団体主催のコンクールにウェブ申込システムの提供とステージポイントの共有を行った。
令和5年度（2023年度）は51種類・353地区のコンクールと提携。申込数は延べ28,914件。

第三項 音楽および音楽教育に関する調査研究、情報公開

■機関誌「Our Music」369号より計6回発行（理事会）

368号を「令和5年度（2023年度）ピティナ・ピアノコンペティション参加要項」として刊行。

■新曲作品募集とその選考（本部事務局）

譜面審査：令和5年（2023年）10月10日（火）～12月20日（水）
応募57曲から10曲をコンペティション課題曲候補として検討。

■ピティナのウェブサイト上で「ピアノ曲事典」の掲載・更新（メディア委員会）

ピティナ・ピアノ曲事典（ウェブサイト）の構築。令和6年（2024年）3月末時点で、約2,900人の作曲家情報と8万7千曲の作品情報を公開中。

■ピティナ音楽研究所

令和4年（2022年）4月に新設し、同年9月に文部科学省から科研費申請機関としての「指定通知」を受けた。2023年度は科研費申請一件の採択実績を作ったが、研究員の転籍により運用は別機関が行う。下半期には研究員2名の任期満了に伴う交代要員を決めるための公募を行い、新たに2名の協力研究員を選考した。

■公開録音コンサート（メディア委員会）

令和5年度（2023年度）は11公演を実施（2010年1月からの通算開催数：290回）。当年度の全公演の入場料収入合計は1,186,000円であった。また、151曲の新規音源をピティナ・ピアノ曲事典に登録した。

■音楽総合力UPワークショップ（メディア委員会）

「音楽家としての自立」をテーマとした10組の講師による連続講座（通算14回目）。講師はヴァイオリニストで前東京芸大楽長の澤和樹氏や作曲家・キーボーディストの難波弘之氏などを招いた。

■オンデマンド楽譜印刷・製本サービス「ミュッセ」（本部事務局、課題曲選定委員会）

商品を自由な組み合わせ・曲順で楽譜集にまとめられるオンデマンドの楽譜印刷・製本サービス。販売中の作品数は8,354点（2024年5月14日時点）。個人出品物の販売に加えて、ピティナ事業に関わる作品の販売として、コンペ課題曲やアナリーゼ楽譜の単品販売のほか、編曲オーディションの受賞作品を褒賞として販売。

第四項 ピアノを中心とする音楽教育に関する国際交流事業の実施

■世界の諸地域との交流・情報交換

○浜松国際ピアノコンクール事務局の推薦により、国際音楽コンクール世界連盟の総会（2023年6月2日、浜松にて実施）で、福田成康専務理事がピティナの活動を紹介するプレゼンテーションを行った。

○イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、オーストリア、ロシア、ポーランド、トルコ、アイルランド、フィンランド、中国、香港、韓国、タイ、フィリピン、モンゴル、インドネシア、シンガポール、アメリカ、カナダ、MTNA（The Music Teachers' National Association of U.S.A.）、EPTA（European Piano Teachers Association）、FACP（Federation for Asian Cultural Promotion）、World Federation of International Music Competitions（国際コンクール世界連盟）等との情報交換。

○浜松国際ピアノコンクール事務局・仙台国際音楽コンクール事務局（日本）、リスト国際コンクール事務局（オランダ）、エリザベート王妃国際音楽コンクール（ベルギー）、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール事務局・クリーブランド国際ピアノコンクール事務局・ジーナ・バックアウワー国際コンクール事務局（アメリカ）、アーリンク・アルゲリッチ財団等との情報交換。

○来日アーティスト

令和5年度（2023年度）は、新型コロナウイルスの5類移行等に伴い、2019年以前と同様に、ピティナ・ピアノコンペティション

全国大会（特級～G級）に海外招聘審査員3名を迎えた。また、特級二次予選などには、日本在住または日本に長期滞在している海外アーティスト・教授を審査に招聘した。

第五項 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

■ピティナ・学校クラスコンサート（理事会）

令和5年度（2023年度）は37校で開催。

内訳（出資元別）：支部・ステーション13校、自治体・教育委員会12校、文化庁派遣事業9校、学校主催3校

■ピティナ・ピアノ教室紹介（理事会）

8,393件（2024年3月末日時点）

■ピティナ伴奏者紹介（理事会）

34件（2024年3月末日時点）

■ピティナ調律師紹介（理事会）

52件（2024年3月末日時点）

■専門家によるオンライン無料相談窓口

経営相談：29件 終活相談：1件（2024年3月末日時点）

■寄付金（理事会）

下記の事業およびプロジェクト、または関係団体への寄付として合計7,126,341円／735件の寄付を集めた（2023年3月末日時点）。寄付方法は、ピティナ・ウェブサイトからの申込（クレジットカード等）、指導者賞賞金による寄付など。

○ピティナのプロジェクト

ー各事業への寄付：ピアノ教室紹介、ピアノ曲事典を中心に、ピティナの全事業が対象

ー新規プロジェクト：2022年特級クラウドファンディング

○関連団体 公益財団法人福田靖子賞基金

■当協会の目的達成に協力する団体等との連絡提携

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ○公益財団法人 福田靖子賞基金 | ○公益社団法人 日本演奏連盟 |
| ○一般社団法人 日本ピアノ調律師協会 | ○公益社団法人 日本オーケストラ連盟 |
| ○一般社団法人 日本楽譜出版協会 | ○一般社団法人 日本作曲家協議会 |
| ○公益財団法人 東京二期会 | ○公益財団法人 音楽文化創造 |
| ○一般社団法人 日本弦楽指導者協会 | ○一般社団法人 日本クラシック音楽事業協会 |
| ○公益財団法人 音楽鑑賞教育振興会 | ○仙台国際音楽コンクール |
| ○一般社団法人 FACP 日本 | ○アーリンク・アルゲリッチ財団 |
| ○音楽教育を守る会 | ○日本民間教育協議会 |
| ○デジタルアーカイブ学会 | ○日本音楽学会 |
| ○日本音楽芸術マネジメント学会 | ○日本音楽教育学会 |
| ○教育立国推進協議会 | ○「エクセレントNPO」をめざそう市民会議 |
| ○公益財団法人 日本非営利組織評価センター | ○慶應義塾大学 |
| ○全国の市町村及び市町村教育委員会 | ○全国の音楽学校、音楽大学 |
| ○当協会団体会員（60団体） | |

以上の団体との情報交換。